

確認試験結果報告書（データベース登録用）

住 所  
社 名  
氏 名

（第一類）

印

物 品 名					
製造会社 又は 輸入会社	住所 名称	Tel FAX			
組 成	全成分（化学名）及びそれぞれの含有率（重量％）				
状 態 （ 印 ）	粉粒状以外 ・ 粉粒状 （ 粉状 ・ 粒状 ）	目開き 2 mm網ふるい通過 目開き 1.18mm網ふるい通過	％ ％		
試験結果 （ 印 ）	燃 焼 試 験	ランク	1 ・ 2 ・ 3		試験データは 別 添
	落球式打撃感度試験	ランク	1 ・ 2 ・ 3		
	大 量 燃 焼 試 験	危険性	有 ・ 無		
	鉄 管 試 験	危険性	有 ・ 無		
総合判定 （ 印 ）	第一種酸化性固体 第二種酸化性固体 第三種酸化性固体 非危険物				
品 名	第一類 _____				
そ の 他	第三者への確認書の交付 用途： 連絡担当者 （ 可 ・ 不可 ） Tel FAX				
備 考	S	F1	F2	D1	D2
登録番号					

（ A 4 ）

注 1 ) 必要事項を記入し、該当する項目を で囲むこと。

注 2 ) 印の欄は記入しないこと。

試験名		燃焼試験	
試験実施日		年 月 日	
試験場所			
試験実施者			
試験条件		温度( ) 湿度( %) 風速( m/s )	
木粉の種類 粒度 その他調整条件			
無機質断熱板		種類 厚さ( mm ) 熱伝導率( W/(m· ) )	
標準物質 の 試験 時 間	物質名	臭素酸カリウム	過塩素酸カリウム
	純度・等級	( )・( )	( )・( )
	粒度		
	製造会社		
	混合比 その他 調整条件	重量比 1 : 1 (合計 30g)	重量比 1 : 1 (合計 30g)
	1回目	秒	秒
	2回目	秒	秒
3回目	秒	秒	
4回目	秒	秒	
5回目	秒	秒	
平均値	秒	秒	
試験 物品 の 試験 時 間	試験物品名		
	混合比 その他 調整条件	重量比 1 : 1 (合計 30g)	重量比 4 : 1 (合計 30g)
	1回目	秒	秒
	2回目	秒	秒
	3回目	秒	秒
	4回目	秒	秒
	5回目	秒	秒
平均値	秒	秒	
最小値	秒		
判定  (印)	ランク ( 1 ・ 2 ・ 3 )		

注1) 標準物質及び試験物品について5回を超える測定結果は別紙

注2) 臭素酸カリウムの燃焼時間以下の場合 …… (ランク1)

臭素酸カリウムの燃焼時間を超え、過塩素酸カリウムの燃焼時間以下の場合 …… (ランク2)

過塩素酸カリウムの燃焼時間を超えるか、または不燃である場合 …… (ランク3)

試 験 名		大量燃焼試験		
試 験 実 施 日		年 月 日		
試 験 場 所		( 屋内 ・ 屋外 )		
試 験 実 施 者				
試 験 条 件		温度 ( ) 湿度 ( %) 風速 ( m / s )		
木 粉 の 種 類 粒 度 その他調整条件				
無 機 質 断 熱 板		種類 厚さ ( mm ) 熱伝導率 ( W / ( m · ) )		
標 準 物 質 の 試 験	物 質 名		過 塩 素 酸 カ リ ウ ム	
	純 度 ・ 等 級		( ) ・ ( )	
	粒 度			
	製 造 会 社			
	混 合 比 そ の 他 調 整 条 件		重 量 比 2 : 3 ( 合 計 5 0 0 g )	
	燃 焼 時 間	1 回 目		秒
		2 回 目		秒
		3 回 目		秒
		4 回 目		秒
		5 回 目		秒
平 均 値		秒		
試 験 物 品 の 試 験	試 験 物 品 名			
	混 合 比		体 積 比 1 : 1 ( 合 計 5 0 0 g )	
	燃 焼 時 間	1 回 目		秒
		2 回 目		秒
		3 回 目		秒
		4 回 目		秒
		5 回 目		秒
平 均 値		秒		
判 定  ( 印 )		危 険 性 ( 有 ・ 無 )		

注 1 ) 標準物質及び試験物品について5回を超える測定結果は別紙

注 2 ) 過塩素酸カリウムの燃焼時間以下の場合 ..... ( 危険性有 )  
 過塩素酸カリウムの燃焼時間を超えるか、または不燃である場合 ..... ( 危険性無 )

試験名	落球式打撃感度試験		
試験実施日	年 月 日		
試験場所			
試験実施者			
試験条件	温度( ) 湿度( % )		
赤りん	純度( ) 等級( ) 粒度( ) 製造会社( )		
標準物質の試験	物質名	塩素酸カリウム	硝酸カリウム
	純度・等級	( )・( )	( )・( )
	粒度		
	その他調整条件		
	製造会社		
	落球の重量	g	g
	50%爆点	cm	cm
	標準偏差		
試験物品の試験	試験物品名		
	比較物質	塩素酸カリウム	硝酸カリウム
	落球の重量	g	g
	落高	cm	cm
	10回試験	/	/
	30回試験	/	/
	合計	/	/
判定 (印)	ランク ( 1 ・ 2 ・ 3 )		

注1) 40回を超える測定結果及びデータ集計表は別紙

注2) 塩素酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2以上の場合……(ランク1)  
塩素酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2未満、かつ、  
硝酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2以上の場合……(ランク2)  
硝酸カリウムとの比較試験において「爆」が1/2未満の場合 ……(ランク3)

〔データ集計表〕

1 塩素酸カリウムを標準物質とする試験

(1) 50%爆点の算出

落 高		〔爆〕 〔不爆〕 の回数 (n)	i	i × n	i <sup>2</sup> × n
H (cm)	常用対数 (logH)				
_____	_____	Ns =	_____	A =	B =

$$H_{50} (50\% \text{爆点}) =$$

$$S (標準偏差) =$$

(2) 試験物品の測定結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合 計	備 考
落 球 重 量  g											/ 10	
											( / 30 )	
											/ 40	

注1) 試験物品の測定結果の記入 (爆: 不爆: x)

注2) 試験物品の測定結果の記入において、40回を超える測定結果は別紙

2 硝酸カリウムを標準物質とする試験

(1) 50%爆点の算出

落 高		〔爆〕 〔不爆〕 の回数 (n)	i	i × n	i <sup>2</sup> × n
H (cm)	常用対数 (logH)				
_____	_____	Ns =	_____	A =	B =

$$H_{50} (50\% \text{爆点}) =$$

$$S (標準偏差) =$$

(2) 試験物品の測定結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合 計	備 考
落 球 重 量  g											/ 10	
											( / 30 )	
											/ 40	

注) 1 (2) の注1及び2に同じ。

試 験 名	鉄管試験
試験実施日	年 月 日
試験場所	
試験実施者	
試験条件	温度( ) 湿度( % )
可燃性物質	セルロース粉 粒度( )
試験物品名	
調整条件	
混 合 比	重 量 比 3 : 1
使用鉄管等	
伝 爆 薬	
電 気 雷 管	
爆発の程度 ( 印 )	1回目 ( 完爆 ・ 不爆 ) 2回目 ( 完爆 ・ 不爆 ) 3回目 ( 完爆 ・ 不爆 )
判 定 ( 印 )	危 険 性 ( 有 ・ 無 )

注1) 3回を超える測定結果は別紙

注2) 3回の試験のうち1回以上鉄管が完全に破裂した場合 …… (危険性有)

3回の試験においていずれも鉄管が完全に破裂しなかった場合 …… (危険性無)